

名人をしょうかいしよう

～ちいきの名人をしょうかいしよう～

国語科

第2学年

育成を目指す資質・能力
【情報活用能力】

単元の概要

生活科「もっとなかよし町たんけん」の学習で、地域で働いている人や名人を見つけて話を聞く活動を8グループに分かれて行った。本単元では、その時に見つけた地域の名人についてインタビューや見学したことをまとめて、「名人しょうかいカード」を書き、友達と紹介し合う活動を設定した。名人のことを紹介するためには、その人がすることやできること、その人に対する自分の思いなどを詳しくかつ分かりやすく書く必要がある。「名人しょうかいメモ」で伝えたい事柄を整理して、構成を考えることの必要性を感じ、積極的に学習に取り組むことができた。また、書いた文章をグループの友達と読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合うことによって、より伝わりやすい文章を書こうとする意欲につながった。

単元の目標

地域の名人について、課題をもってインタビューや見学をし、紹介したいことが伝わるように「名人しょうかいメモ」を用いて事柄を整理して「名人しょうかいカード」を書くことができる。友達と読み合って感想を伝え合うことができる。

単元の計画（全10時間）

【課題の設定】（1）

- ・町たんけんで見つけたことを元に、素敵な場所や名人を交流する。
- ・地域の名人について、学級の友達と「名人しょうかいカード」に文章を書いて紹介し合うという課題をつかむ。

【情報の収集】（2）

- ・町たんけんでは名人にインタビューしたことや見学したことでわかったことをメモに書き出す。

【整理・分析】（2）

- ・メモの中から紹介したい事柄を3つ選び、整理する。
- ・教科書のメモや紹介カードの例を読み、構成や表現の工夫について話し合う。

【まとめ・創造・表現】（3）

- ・メモをもとに、「名人しょうかいカード」を詳しく書く。

【振り返り】（2）

- ・友達の「名人しょうかいカード」の構成や表現の工夫を見つけ、感想を友達と伝え合う。
- ・単元の学習を振り返る。



【ポイント】

課題発見・解決

インタビューや見学メモをもとに、必要な事柄だけを取り出す作業にメモを用い、メモの書き方や整理の仕方を学習することによって主体的に情報を整理させた。

単元全体を貫いた活動目標の設定

地域で生活している人や働いている人の思いや工夫に気付き、地域の人ともっと関わりたいという思いをもつことができ、地域の人々に親しみや愛着をもつことができることを目標としている。

他教科との関連

国語科「「ありがとう」をつたえよう」生活科「わくわくまちたんけん」「みんなであつかう町のしせつ」「もっとなかよし町たんけん」